

事業所名

総合発達支援プラザふらっぴ3号館

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2024年

10月

1日

法人（事業所）理念	<p>◎複数の専門職で療育を行い、健康・清潔管理、栄養管理、身体能力の向上、生活リズムの安定化、福祉用具等の環境調整等各種機能の向上を図ります。</p> <p>◎事業所内での小集団活動や他事業所との交流等を通じ、社会的適応力の向上を目指します。</p> <p>◎ご家族様に対して、適切な健康管理や栄養摂取、医療的ケア、環境調整などの支援方法に関して提案・助言を行い、連携・共有をします。</p>					
支援方針	<p>①☑利用者様が有する能力を最大限に引き出し、社会の中で表現しつつ、活躍することを支援します。</p> <p>②☑家族様が相談し易い体制、学び易い体制を整備します。</p> <p>③☑相談支援専門員や地域の関係機関と連携して支援します。</p> <p>④☑地域の早期療育支援ネットワーク構築に寄与します。</p> <p>⑤☑支援者が学べる機会を提供します。</p>					
目標	個々に合わせた支援を行い、児の楽しい！やりたい！できた！という気持ちを育む					
営業時間	9時	0分	15時	30分	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・検温や保護者の方からの聞き取り等にて健康状態の把握を行います。また、必要なお子さんに対しては、看護師による酸素濃度の測定や医療的ケア等も行います。 ・睡眠・排泄・食事等、生活リズムを整えられるよう、姿勢等の環境調整も含めた支援方法を保護者の方と一緒にやっていきます。 ・衣服の着脱等、本人ができる部分と一緒に見つけ行えるよう支援していきます。 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・寒天を触る、トランポリンで揺れる、光を見る、楽器を鳴らす、植物の匂いを嗅ぐ等、五感を使った活動を提供し、感覚の発達を促していきます。 ・理学療法士が中心となり、寝返りや姿勢の保持等、身体の発達を促す遊びを行っていきます。必要に応じて、座位保持の使用、装具の着用等も行います。 ・感覚の過敏さ、鈍感さに対して、スモールステップを踏みながら慣らしていきけるよう支援します。 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・実物に触れたり、直接的な人との関わり等を通して、色々な物や人に慣れていけるよう促していきます。 ・視覚的な手がかりや聴覚的な手がかり等、本人の興味がある手がかりを用いながら、生活の流れや行うこと等に気づいて行動に移せるよう支援していきます。 ・お子様の行っている行動の要因や理由等を見極め、他の表現の仕方に移行できるよう支援していきます。 				
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・日常で使う物や動作等を言語化しながら関わり、言葉と物が一致できるよう関わって行きます。 ・本人の視線や表情等を見ながら気持ちを代弁して関わり、本人の思いを実行していくことで、意思を伝えようとする意欲を育めるよう支援します。 ・コミュニケーションの手段が広がるよう、本人に合わせた意思の伝達方法を考え、一緒にいながら習得できるよう支援します。 				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフとのふれあい遊びや同年齢・異年齢を含めた友達との関わりを持ちながら、人への興味が育まれるよう支援します。 ・出来たことを細目に褒めていくことで、自信や意欲につなげ、気持ちの成長に繋がります。 ・鏡で自分を見たり、子どもの行っていることを真似たりする関わりを通して、真似されることへの興味・面白さを伝え、信頼関係を築きながら遊びの発展ができるよう支援します。 				
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・利用のお迎えの際に、活動内容やお子様の様子等を申し送り、ご家庭と事業所での様子共有しながら、より良い支援に繋がっていきます。 ・ご家族様の心配事や不安の軽減に向けて、支援と一緒に考えていきます。必要に応じて専門のスタッフにもつないでいきます。 ・保護者交流会や勉強会などの機会を設け、交流の場や学ぶ機会を持ちます。 ・希望者に入浴支援を行い、ご家族様の介助負担を軽減できるよう支援します。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・他施設のお子様達との関わりを持つことで、いつもとは違う雰囲気や集団場面での経験が得られるように支援を行っていきます。 ・関係機関との連携会議や保育所等訪問支援などを行い、地域の園への移行を支援します。 ・就学に向けた支援内容や関係機関との情報交換等を行っていきます。 			
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の園や関係機関との連携を図りながら、お子様一人一人に応じた支援を行います。また、他施設との勉強会を行い、利用児の情報共有や支援の共有を行っていきます。 ・必要に応じて、関係機関と情報共有のための会議を行い、共通理解のもとに支援を進めます。また、同法人内の小児科とのカンファレンス等を定期的に行っていきます。 ・必要に応じて、同法人内のリハビリと装具やバギーの調整等の連携を図っていきます。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・経験年数に応じた研修会への参加 ・事業所内での勉強会の開催（症例検討・各専門分野リーダーの講習等） ・新入職員研修プログラムの実施 ・介護福祉本社内研修（1回/月）への参加 ・外部研修への参加 			
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者交流会 ・保護者を対象とした研修会 ・親子参加行事 ・避難訓練（約月1回） など 					